



た手法、ノウハウを、今度は研究会を通して圏域全体の振興に応用し、施策を考えていきます。また、研究会では国土庁の「地方振興アドバイザー制度」も活用し、三回にわたって専門家の助言を受ける計画で、より効果的な施策づくりを目指しています。

今後、県北地区の現状把握から課題集約を経て、地域振興の具体策を研究し、今年十二月に各部会の最終報告を取りまとめ、七年二月には研究報告としてまとめられる予定です。

臨空港型産業の振興と航空需要の創出は、空港開港後最大の課題になると予想されることから、こ

の研究会の成果は県北地域全体の発展の契機になるものと大きな期待が寄せられます。

建設工事に合わせ 「夢」の具体化へ前進

大館能代空港は、本体事業費とアクセス道路や空港ターミナルなどの建設費を合わせて、総事業費が六百億円を超えるものと見込まれ、現在、切り土・盛り土工事や、本体造成にさきがけてのてん圧調査、空港本体と一部地下で交差するアクセス道南北線の付け替え道路工事などが進められています。県道鷹巣川井堂川線沿いの付け



経 緯 PROGRESS

- | | |
|----------|------------------------------|
| 昭和62年 8月 | 県北空港建設促進期同盟会設立 |
| 9月 | 県議会高速交通体系等整備促進特別委員会設立 |
| 63年 7月 | 空港適地調査開始 |
| 12月 | PR用シンボルマークとキャッチフレーズを公募、決定 |
| 平成元年 4月 | 建設候補地を鷹巣町大野台中屋敷付近に決定 |
| 5月 | 基本計画調査開始 |
| 8月 | 県北空港調査専門委員会設置 |
| 10月 | 滑走路配置案決定 |
| 12月 | 県北空港建設期成大館地域推進会議設立 |
| 2年 4月 | 名称が「大館能代空港」に決定 |
| 3年 7月 | 大館市で'91エアフロントフォーラム開催 |
| 9月 | フライト預金募集開始 |
| 11月 | 第6次空港整備5カ年計画の予定事業への組み入れが閣議決定 |
| 4年 8月 | 新規事業に昇格 |
| 12月 | 5年度政府予算案に実施設計調査費が計上 |
| 5年 11月 | 飛行場設置許可申請 |
| 12月 | 飛行場設置許可 |
| 6年 6月 | 県議会で工事請負契約締結案可決 |
| 7月 | 建設工事が一部スタート |
| 8月 | 大館能代空港利活用研究会設立 |

れ、大型重機特有の機械音が響き渡っていました。空港建設予定地



付け替え道路の工事現場
(鷹巣町脇神字湯車地内)

替え道路工事現場(写真)では、ブルドーザー、大型バックホー、四十五トン大型ダンプなどが導入さ

の数個所で建設工事が始まり、場所によっては現場を目の当たりにできることから、いやがおうにも開港への期待は高まります。

長期滞在型大規模リゾート「北緯40°シーズナルリゾートあきた」に隣接し、「米代川流域地方拠点都市地域」の中核をなす高速交通施設「大館能代空港」。臨空港型工業団地の整備によるハイテク企業の誘致や県北地域の特産物を生かした地場産業の育成、時代の変化に即応した市場競争力の強化など、空港を軸に各分野でさまざまな展開が考えられます。

十年開港に向けたつち音と合わせ、県北住民が一体となって夢の具体化を図るため、「空港利活用研究会」は発足したといえます。